

「盛岡支社・秋田支社における乗務員基地再編の概要について」団体交渉②

【大館運輸区関係】

3項 施策実施後、他職場ですぐに乗務できないため教育・訓練についての考えを示すこと。

- 会社) 再編後に偏りが出ないようにやっていくことになる。
- 組合) 秋田運輸区の行路は羽越線と北線、南線と北線と混みになっている。
- 会社) 乗務できない線区を乗るとはならない。要員確保のための事前訓練を行い行路を回せるようにしていく。
- 組合) 再編の段階で乗務できるのか。
- 会社) 断面で言うと全て乗れるとしない。再編以降に全て乗れるようにしていく。
- 組合) 再編のタイミングで交番に偏りが出る可能性はあるのか。
- 会社) 偏りは出る。異常時等でも乗務できないことになるのでスピーディーに解決できるようにしていく。
- 組合) 秋田運輸区では大館駅構内の教育が必要になるがどうするのか。
- 会社) 秋田運輸区には話をしているので対応していく。

4項 大館運輸区廃止後の輸送の体制について、現時点での考えを示すこと。

- 会社) 体制については決まっていなくて検討中である。
- 組合) 検討期間をいつまで設けていて、いつ示されるのか。
- 会社) 確定した時点で示していくが、詳細提案に向けて取り組んでいる。不安については大館運輸区に行った時に把握している。
- 組合) どのようなことを検討しているのか。
- 会社) 勤務体制の部分が一番の検討課題になっている。異常時の駆けつけ体制等、想定される課題は支社が管理者から話を聞いている。大館運輸区—弘前運輸区—支社で議論しているところである。

5項 津軽線の教育期間を2日間とした根拠を示し、乗務員が納得できる教育・訓練とすること。

- 会社) ECで青森～蟹田の訓練とし、線見1往復、ハンドル訓練5往復となる。
- 組合) 行路は弘前運輸区で示されている泊まり行路になるのか。
- 会社) 弘前運輸区と全く同じということではない。日勤になることもある。スケジュールや内容は訓練開始前に示していくが時期まで明確になっていない。
- 組合) 2日間の訓練で覚えるのか。
- 会社) 基本的にはそれで覚えてもらいたい。不安があれば予備日も含めているため対応は可能だが全員は厳しい。
- 組合) 机上教育のやり方についてはどのように考えているのか。
- 会社) 弘前運輸区から来るか、大館運輸区内で完結するのか検討している。大館運輸区内で教育するとなると大館運輸区の方が津軽線を覚えてから教えることになる。

6項 車掌の751系訓練において、特改では停止位置やホームからのレーピーターの見え方等不十分なため、運転取扱いについても行うこと。

- 会社) 訓練のために特改としているので本務と一緒に確認することになる。
- 組合) 現場の声を受けての対応か。
- 会社) 現場からも声が出されている。大館運輸区の車掌は奥羽本線を乗務しているため、車種の違いはあるものの大きな誤差はないと考えている。そのため車内改札をメインに置いた教育をしたい。
- 組合) 車掌業務として運転取扱いと車内改札の一連の流れで学ぶ訓練を考慮してやっていく必要がある。
- 会社) 必要な教育はやっていく考えなので現場の意見を聞いて解消していきたい。